

2章『戦うアイドル』9

それは、まさしくカノンとセシルがオーディションに合格したのとほぼ時を同じくした頃だった。高岡市から遠く離れた富山県東部の黒部川上流の人造湖の中で、激しい化学変化が生じていた。

ゴボツゴボツゴボツ。水中の小さな泡が一つに集まり、次第にそれは大きな泡へと成長を遂げる。無から有へ。虚から実へ。今まさに生命が生ずる瞬間だった。

黒部湖の水中で産まれた大きな泡のかたまりは、その後、湖の上にフワフワと浮かび上がったと思いきや、人間の姿を形成していく。やがて、それは美少女の形となっていく。

あみこん娘

The NOVEL

酒井 直行

た。とはいえ、ただの美少女ではない。体は、内側に凹状に湾曲したアーチの形をしたコンクリートの鎧のようなものを身につけている。そして両方の掌の中央には大きな

西の空を眺めて目を細めた。「ふーん。アマタペアレディースっていうダサイ名前はやめたんだ。ちょっと残念ね。結構、気に入っていたのに」

黒蜜ちゃんは独り言を呟く。その表情は楽しそうだ。

ノンとセシルの様子が映っているようだった。「さてと。どうやってやっつけようかな？ どうせ倒すなら、メチャメチャにしてやりたいわね。夜叉の仇討ちもした いしね」



キャラクター原案 松原 秀典
イラスト 那智 泉

穴が開いていて、そこから勢いよく水流が噴出できるようになっていいる。『ダムっ娘・黒蜜ちゃん』の誕生である。

ダムっ娘・黒蜜ちゃんは、黒部湖の上空に浮かんだまま、

なにかいいカンジに活躍しそうじゃない。でも、私は、この前の九谷焼姫みたいに簡単にはいかないから」

どうやら彼女の視線の先には、遠く高岡市の市民会館のカ

「覚悟しなさい。カノン、セシル。お前たちはもうじき消えることになる」。黒部湖の空に、黒蜜ちゃんの声がこだました。